

競技規則

1 本大会競技規則は、日本サッカー協会「フットサル競技規則」に概ね準じる。

2 競技者の数について

競技者の数は、両チームとも5～20人とする。試合開始時には、両チームとも5人いなければならない。4人以下になった時点でそのチームは不戦敗となり、スコアは0 - 5とする。但し、助っ人を入れフレンドリーマッチとしての試合はできる限り行うものとする(助っ人は2人まで可)。

3 交代について

試合中に行われる交代の回数は、GKを含め制限されない。交代ゾーンを使い、競技者が完全にピッチを出てから交代要員が入る。違反した場合は、イエローカードを示される場合もある。

4 競技者の用具について

原則として、ユニフォームはGKを除く競技者全員が同じものを着用する。揃っていない場合や、相手チームが同色の場合は、審判の指示に従い一方のチームがピブスを着用する。眼鏡、ピアス等の金属類は、一切着用を禁止する。レガース(すね当て)は着用を義務とする。シューズについては、スパイクは禁止、トレーニングシューズなどを使用すること。

5 審判について

主審と第2審判の2人でゲームコントロールする。第2審判も主審と同様、競技規則の違反に対してFKやPKを与え、レッドまたはイエローカードを示すことができる。しかし、両者の間に不一致があった場合は、主審の決定が優先される。

6 試合時間について

試合は、前、後半の10分ずつ行われる。ハーフタイムのインターバルは2分。試合時間はランニングタイムで計測する。タイムアウトはなし。

7 キックオフについて

コイントスまたはジャンケンに勝ったチームが自陣ピッチを決め、他方のチームがキックオフを行う。キックオフから直接得点することができる。

8 禁止プレーについて

激しくてもフェアなプレーは認めるが、相手競技者への危険なスライディングタックルは禁止とする。但し、自陣ペナルティーエリア内で行われたGKのスライディングは、不用意に、無謀に、過剰な力で行われていなければ認める。

9 反則と不正行為について

反則と不正行為に応じて、相手チームにFKやPKが与えられ、競技者あるいは交代要員にレッドまたはイエローカードが示される。イエローカードの次の試合への累積はない。イエローカードを同じ試合の中で2枚示された場合はレッドカード。レッドカードを示された競技者あるいは交代要員は、即座に退場を命じられてピッチを離れ、その試合には復帰できない。但し、次の試合からは出場できる。しかし、その反則と不正行為の内容があまりにも悪質と審判、本部が判断した場合は、

全試合出場禁止になることもある。

競技者が退場を命じられたチームは、2分間が経過した後に、審判の了承を得て、交代要員の中から競技者を補充することができる。但し、2分間が経過する前に、退場者が出たチームが失点した場合は、その時点で競技者の補充が認められる。だが、両チームとも退場者がいて同数の場合は、両チームとも同数の競技者のままとする。

10 フリーキック

直接、間接FKともに、違反の起きた場所から行う。相手のペナルティーエリア内で与えられた攻撃側チームの間接FKは、違反の起きた地点に最も近いペナルティーエリアのライン上から行う。

11 累積ファウルについて

累積ファウルルールは採用しない。従って、第2ペナルティーマークも存在しない。

12 ペナルティーキック

キッカーと守備側のGK以外のすべての競技者は、ペナルティーマークより後方で、かつペナルティーマークから少なくとも5m離れなければならない。GKはボールが蹴られる前でも、両ゴールポストの間のゴールライン上であれば自由に動くことができるが、ゴールラインより前方へ動くことはできない。

13 キックインについて

ボールはタッチライン上に静止。立ち足は、タッチライン上またはタッチラインの外に置く。

ボールが天井ネットに当たった場合は、最後にボールに触れたチームの相手チームのキックインにより試合を再開。ボールが当たった場所に最も近いタッチライン上の地点から行う。

14 ゴールクリアランスについて

GKは、ペナルティーエリア内の任意の地点からボールをスロー。ゴールクリアランスから直接得点することはできない。

15 コーナーキックについて

コーナーアークの中に正しくボールを置く。

16 GKの反則について

GKが保持していたボールを離した後、ボールがハーフウェーラインを越えるか、相手競技者によってプレーされた後でなければ、味方競技者からボールを受けることはできない。味方競技者からのバックパスとキックインされたボールを手で受けることはできない。GKはペナルティーエリアを出てプレーできるが、自分自身のハーフ内に限り、4秒を超えてボールを手または足でコントロールすることはできない。GKがこれらの反則を犯した場合は、間接FKを相手チームに与える。

17 4秒ルールについて

フリーキック、キックイン、ゴールクリアランス、コーナーキックはすべて、ボールを保持してから4秒以内に行う。違反した場合は、その地点(ゴールクリアランスは違反の起きた地点に最も近いペナルティーエリアのライン上)から相手チームの間接FKとなる。

18 5mについて

フリーキック、キックイン、コーナーキックでプレーを再開する際、相手競技者は、ボールから少な

くとも5m離れなければならない。ペナルティーキックは、ペナルティーマークから少なくとも5m離れなければならない。

19 順位決定について

総当り戦は勝点制としPK戦は行わない。勝点は、1勝につき3点、引き分けの場合は両チームとも1点、負けは0点とする。最終節終了時に勝点が同点の場合は、得失点 総得点 直接対決の結果で順位を決定する。順位決定戦で引き分けの場合は、即PK戦とする。PK戦は3人ずつ、4人目以降は同数のキック数で、一方のチームが多く得点をあげるまで続ける。すべての競技者(交代要員も含む)がPK戦に参加する資格がある。但し、参加する競技者の数は、少ない方のチームの競技者の数に合わせる。

20 判定、試合内容の異議について

試合中の判定に関する審判への異議、試合内容に関する渋谷区サッカー協会への異議申し立ては、試合当日、後日を含め、一切受け付けない。

以上

NPO法人 渋谷区サッカー協会 フットサル部